

3つの方針について

学部名：工学部
学科：機械工学科

<p>入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)</p>	<p>工学部は、科学技術の分野における先端的、創造的な職業能力はもとより、自然、社会、文化等に対する深い見識を育むことを目指して、学生と教員のふれあいを重視した教育を行っています。特に演習、実験、卒業研究等、研究室での少人数教育を通して、世界に通用する学問及び社会の進歩を支えるものづくりに不可欠な技術の修得と、社会で活躍するための実践力や表現力を養います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自然、社会、文化等に対して幅広い関心を持ち、それらの基礎学力を持った人。 ●工学を理解するために必要な数学、理科に興味を持ち、それらを応用する能力と自主的に学ぶ意欲を持った人。 ●工学とその周辺分野に対する旺盛な好奇心を持ち、真摯に問題を探求し続ける姿勢を持った人。 ●工学における問題解決の実践に情熱を持ち、社会に貢献しようという気概を持った人。
<p>学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)</p>	<p>個性に輝く技術者となるために、自らの短所を補い、長所を伸ばそうとする意欲と姿勢を持っている。【関心・意欲】【態度】</p> <p>社会性・国際性・倫理観：社会的・国際的に広い視野、先見性、倫理観を持つために、科学技術の果たす歴史的・社会的役割を理解している。【態度】</p> <p>コミュニケーション能力：自らの考えを日本語や英語で科学的・論理的に説明し、コミュニケーションすることができる。【技能・表現】</p> <p>工学基礎：工学の礎となる数学、自然科学、情報技術に関する基礎知識を持っており、これを使って議論できる。【知識・理解】</p> <p>機械工学専門：材料と構造、運動と振動、エネルギーと流れ、情報と計測・制御、設計と生産、機械とシステムなどの機械工学の主要専門分野に関する基礎知識を持ち、これを応用することができる。【知識・理解】</p> <p>デザイン能力・創造性：社会の要求をとらえたモノづくりのための創造力と設計技術の基礎を修得している。【思考・判断】</p> <p>実践的能力：機械の専門分野とともに、産業の環境負荷や生態系への影響、環境と人間に調和する機械の知能化など、環境-人間-機械の関係を総合的にとらえて、科学技術を応用することができる。</p> <p>自主性：地球の将来を見据えて、自ら課題を設定し、計画・実行することができる。【関心・意欲】</p>
<p>教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)</p>	<p>【学習・教育の目的】 本機械工学科は、三重大学及び三重大学工学部の教育目標の考えに従い、機械工学分野を核とする広範な知識および技術を教授し、人間・環境・機械の調和的発展に貢献しうる創造性豊かで社会性の高い個性的人材を育成することを目的とする。</p> <p>【学習・教育目標】</p> <p>(A) 自らの短所を補い、長所を伸ばし、個性に輝く技術者となる。</p> <p>(B) 科学技術の果たす歴史的・社会的役割に関する学習をとおして、社会的・国際的に広い視野、先見性、倫理観を修得する。</p> <p>(C) 英語演習や発表型・協力型演習をとおして、外国語も含むコミュニケーション能力を修得する。</p> <p>(D) 数学、自然科学、情報技術を重視した教育をとおして、工学基礎知識を修得する。</p> <p>(E) 実験・実習・演習を重視した教育をとおして、材料と構造、運動と振動、エネルギーと流れ、情報と計測・制御、設計と生産、機械とシステムなどの機械工学の主要専門分野について、基礎知識とその応用力を修得する。</p> <p>(F) 実験・実習をとおして、モノづくりのための設計技術・感覚などのデザイン能力・創造性を修得する。</p> <p>(G) 実践的学習の場としての卒業研究をとおして、機械の専門分野とともに、機械の環境負荷や人間への影響、環境及び人間に調和する機械の知能化など、環境、人間、機械の関係、それらの調和についても考えることのできる能力を修得する。</p> <p>(H) 卒業研究や調査型演習ならびにセミナーをとおして、自ら課題を設定し、計画・実行できる能力を修得する。</p>